

9月13日(月)、14日(火)に文化祭「桃李祭(とうりさい)」が行われました。コロナ禍によりギリギリまで中止も検討された中、日程や枠組を変更し、3密の回避、消毒・マスクの徹底、企画内容の基準などさまざまな制約が課されましたが、なんとか「校内発表会」という形で実施にこぎつけました。

特別進学コースは団結力が強く活動へのモチベーションが高いため、行事になると一段と燃えて大きな成果を上げます。今回も受賞したクラスを始め、どのクラスもすばらしい完成度の展示・発表となりました。

1年2組「レ・ミゼラブル」【映画上映】

原作に忠実に本格的な「映画」を制作。誰でも一度は聞いたことがある題名ですが、こんな話だったのか…と改めて感動。グリーンバック技術を駆使した美しい「背景」と、ストーリーを盛り上げる心を揺さぶる「音楽」は大注目!



ミュージカル「レ・ミゼラブル」の歌やストーリーに惹かれ、全校生に同じ感動を伝えたく企画しました。背景はグリーンバックで合成しました。リアルに映るよう、グリーンバックをきれいに保つのが大変でした。桃李祭の当日は学年ごとでしたが、全校生に大画面で見てもらえたので、観客のリアクションを実際に見ることができてとても緊張しました。

準備、撮影はたいへんでしたが、その頑張りの分、完成後の達成感はとても気持ちのいいものでした。放映後の拍手や多くの方からのお褒めの言葉に感激しました。【宮下ほの(福島大学附属中学校出身)】

2年3組「とびだせ とくしんの森」【謎解き脱出ゲーム】

タイトルの元ネタはもちろんあの国民的ゲームです。特別進学コースの事をもっと正しく知ってほしい!という目標に向けてさまざまなクイズやゲームに参加してもらいました。



特進コースのことを他のコースの人たちにも知ってほしいと思って企画しました。正直、勉強の大変なコースです。テストの点数や順位、課題の量や授業のレベルに戸惑うこともあります。しかし、それらを達成した時の喜びやクラスの団結に救われる、特進コースの良さをアピールできる企画になったと思います。

桃李祭は校内公開でしたが、普段関わることのない先輩や後輩、他のコースの人たちと話をし、共感して、笑顔の増える時間でした。桃李祭で関わった方々とのつながりをこれからも大切にしていきたいです。いつもと違う環境で多くを学び経験し成長できる機会でした。【菅野唯華(福島市立信陵中学校出身)】

2年2組「成蹊のグリニッジ」【プラネタリウム】

教職員特別賞

教室に本格的なドームを手作りで作成。専門の装置で星座を映しました。お客さんの星座にまつわる話や星に関する神話などをナレーション。とてもロマンティックな世界でした。毎回の換気と消毒も怠りませんでした。



クラスの人数が14人と少なくても、クオリティが高く皆が楽しめるものを目指し、プラネタリウムを企画しました。ドームは段ボールで作ったのですが、部品が全て設計図通りの形ではなかったので、修正しながらの作業でした。かなりの大きさのドームを全員で協力して組み立てましたが、それでも人数が足りず苦勞しました。

前日に入念なリハーサルをしたので当日は滞りなくスムーズに進みました。来て下さった生徒、先生方、皆さんからクオリティの高さに驚いてもらったのが何よりもうれしかったです。大きな作品を全員で作上げた達成感は大きく、団結力がより深まりました。【大波妃夏乃(伊達市立伊達中学校出身)】

君を
超えろ
みんなの
青春の
ピース
でつくる

3年2組「夢想博奕場Eden」【カジノ風ゲーム場】

トランプ、ルーレット、サイコロなど、本格的なゲームで楽しんでもらいました。そこに「勇者がゲーム上に迷い込んだ」というストーリー性をプラス。ゲームについてのナレーションを流すなど、様々な工夫がありました。



クラス全員からアイデアを募集し、大筋を決定してからあとは各チームにまかせて準備を進めました。3年生で勉強の量も多いので、準備に忙しくてためこんだ課題に絶望した日もありました。自業自得ですが。

当日は予想以上にお客さんがきました。最初はハプニングを気にして全体を見ていましたが、後半は人手が足りず、自分の分担で精一杯でした。楽しかったし、楽しんでもらったと思います。

ここまで悩んだのは初めてだったので今後に生かしていけるとと思います。こんなリーダーでごめんなさい。ついでにみんな、ありがとう! 【山上幸子(福島市立福島第四中学校出身)】